

シルバー情報のページ

福祉センター閉館日 さやま荘／11日(祝)・14日(日)
さつき荘／11日(祝)・13日(土)・14日(日)・27日(土)・28日(日)

高齢者SOSネットワーク事業の協力事業者募集

市では、高齢者SOSネットワーク事業に協力できる福祉介護事業所、医療機関、スーパーやコンビニエンスストアなどの商店、企業、団体などを募集しています(4月1日現在、66の団体が協力機関として登録)。登録を希望する場合は、市役所高齢介護グループへ問い合わせてください。

市では、高齢者SOSネットワーク事業に協力できる福祉介護事業所、医療機関、スーパーやコンビニエンスストアなどの商店、企業、団体などを募集しています(4月1日現在、66の団体が協力機関として登録)。登録を希望する場合は、市役所高齢介護グループへ問い合わせてください。

「認知症SOS事業」

道に迷う可能性のある人の情報を事前に登録し、道に迷った際に協力機関・事業所へ連絡し、早期の発見に取り組んでいます。

「見守りSOS事業」

地域の人の日常生活や協力機関・事業所の事業活動の中で、さりげない見守りや声かけを行い、認知症の人や家族の生活する

知症になっても安心して暮らし続けることができるまちをめざしています。

認知症高齢者の個人賠償責任および傷害保険

認知症の人や家族の生活するうえで、不安軽減のため、見守りSOS事業の一環として登録者を対象とした個人賠償責任世帯傷害保険事業を実施しています。市が契約者として保険に加入することにより、日常生活で起きた事故などにより認知症高齢者が損害賠償責任を負う場合などに、保険金の支払いを受けることができます。被保険者の自己負担はありません。詳しくは問い合わせください。

見守りや声かけによって、高齢者について気になることがある場合は、市役所高齢介護グループや地域包括支援センターへ連絡してください。

問い合わせ 高齢介護グループ
☎349-9416、地域包括支援センター ☎368-9922

さやまエイジングエクササイズを募集



さやまエイジングエクササイズの様子

介護予防・健康増進に効果的な軽運動や、介護予防に関する知識を健康運動指導士の指導で学べる体操教室です。自分だけでは運動を続けられない人も、仲間と一緒に楽しく体を動かしながら、気軽に運動機能の維持・向上が図れます。

とき 火曜日コース／9月6日、11月29日の火曜日午前10時30分～11時50分(9月13日を除く。全12回) ※12月6日は予備日、金曜日コース／9月9日、12月9日の金曜日午後2時30分～3時50分(9月23日・11月18日を除く。全12回) ※12月16日は予備日
ところ 総合体育館・武道場 対象 市内に住んでいる65歳以上の人
内容 ボールを使った体操や音楽に合わせて体を動かす運動・ストレッチ 参加費 2500円
定員 いずれも25人(多数の場合

は抽選) ※曜日は途中で変更できません 申し込み 市役所

高齢介護グループ、ニュータウン連絡所、さやま荘、総合体育館で配布する申請書、印鑑、健康保険証など年齢を確認できるものを持って、各窓口へ直接。

〒589-8501大阪狭山市役所高齢介護グループへ郵送、ファクシミリ(☎367-1254)も可。1日(月)～12日(金)必着 ※簡単な健康チェックと同意書の記入が必要です。必ず本人が申し込んでください。申請書は市ホームページからもダウンロード可
問い合わせ 高齢介護グループ ☎349-9416

青春の想い出を歌う会

とき 21日(日)午後1時～3時
ところ さやま荘・大広間
定員 30人(先着順) 申し込み・問い合わせ 5日(金)までに電話でさやま荘 ☎366-2022

見守りSOS事業

協力機関

高齢者を見守り



- 新聞受けや郵便受けがたまっているな?
- 洗たく物が干しっぱなしになっているな?
- このお年寄り、家に帰れないのでは?
- 怪しい業者が頻繁に出入りしているな?
- 毎朝雨戸が開くの、最近開かないな?
- 毎日、同じ物を大量に買っているな?
- そのほか、気づいたこと

通報

包括・在宅支援ネット

市役所高齢介護グループ
地域包括支援センター
くみのき苑在宅介護支援センター
さやまの里在宅介護支援センター

緊急の場合 通報

消防本部：救急要請
富田林保健所
黒山警察署
病

包括・在宅支援会議 支援計画策定

介護サービス利用支援



村上龍平さん

(81歳・狭山)

戦中戦後の生活、肺がんなどいろいろな困難がありました。が、できるだけ後ろを向かず、前向きに、
気の持ちようが大事ですね。

「早朝ウォーキングをする東小の同級生たちと一緒に、僕は自転車であつた池の遊歩道を朝夕計2・3周ポタリングするのが日課と語る、たくましい体格の村上さん。斜め腕立て伏せも毎日欠かさないそうです。現役時代は、家族、結婚式など、数多の人の思い出が詰まった写真を現像する職に就いていました。」

「高卒で入職してから定年まで、堺にあつた現像所に勤めました。現像のほかにも、フォトハイキングを企画して、様々なフォトスポットにお客さんを連れて行ったり。定年後は肥後橋にあるフォトサロンで写真教室や個展のアドバイスにかかわっていました」

「肺がんを患ったんです。1日60本吸うヘビースモーカーでしたからね。でも死ぬということは考えなかった。医療の力を信じて、あとは気の持ちようですね。できるだけ後ろを向かず、前を向くのがポリシーです」

ポジティブな姿勢の背景には、戦中戦後の体験がありました。「終戦の年の2月、3歳半のときにお袋と姉と難波から狭山に疎開してきました。数日後にB-29の編隊が飛来して警報が鳴り、防空壕に入りました。私たちは無事でしたが、難波に残った親戚は空襲にあい、湊川に飛び込んだ人もいました。終戦から2・3年後、親父がフィリピンのルソン島で戦死したとの通告が届きました。昭和25年ごろまで大変でしたね。食べられるものを探して、野イチゴを採ったり、鶏を飼ったり、子どもでもいろいろと工夫をして食べていました」

平成28年、父の戦死地に念願の初訪問を果たしました。村上さんは現在、大阪狭山市遺族会副会長として戦没者の慰霊に携わっています。

「戦後70年にあたる平成27年には、前会長の提案で、会員の皆さんとともに、市の慰霊碑斎場に戦没者の名前を刻んだ石碑を設置することに奔走しました。半永久的に保存できるように。後世にいかにかこの意思をつないでいくかですね」

再び戦禍を目の当たりにする今日。先人のため、そして後人のため、村上さんは活動を続けます。



88歳になった人に 敬老祝金を支給します



88歳になった人を対象に、米寿のお祝いとして敬老祝金を支給します。対象者には、今月上旬に案内と申請書を送付しますので、31日(水)までに市役所高齢介護グループへ申請してください。

対象 昭和8年9月16日～昭和9年9月15日に生まれた人で、9月15日現在、3か月以上市の住民基本台帳に記録されている人 **支給額** 2万円



問い合わせ 高齢介護グループ ☎349-9416



金婚祝賀式を開催

今年結婚50周年を迎える夫婦を対象に、お祝いの催しを開きます。対象の夫婦は、市役所高齢介護グループへ申し出てください。

とき 10月6日(木)午前10時30分～午後0時と
ところ SAYAKAホール・コンベンションホール
対象 9月15日現在市内に住んでいる、昭和46年9月16日～昭和47年9月15日に婚姻届を提出した夫婦 ※本籍地が大阪狭山市以外の場合、戸籍抄本(写し)1通が必要 **申し込み** 5日(金)までに高齢介護グループへ直接
問い合わせ 高齢介護グループ ☎349-9416

